

平成24年（2012年）度

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

小論文

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は10枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 問題1と問題2の解答は、別々の解答用紙に記入してください。

平成24年度（2012年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	小論文
------	-----

※ 問題1と問題2の解答は、それぞれ別の解答用紙を用いること。

問題1

出典：大久保幸夫「日本の雇用」（2009年、講談社現代新書）による。

問1 上記文章の下線①で「ジョブシェアリング」について論じられているが、「ジョブシェアリング」と「ワークシェアリング」との違いについて、筆者がどのように考えているのかについて、250字以内で説明しなさい。

問2 上記文章の下線②のように筆者が考える根拠について、オランダの成功事例として紹介されている「ワッセナー合意」の内容と比較しつつ350字以内で説明しなさい。

## 問題 2

出典：村上陽一郎「教養教育の将来」（「學燈」第107巻第1号（2010年発行）2～5頁）による。

問1 筆者は、教養教育の意義とその未来像をどのように捉えているか、350字以内にまとめなさい。

問2 仮に今後も大学教育（あるいは大学院教育）の中で教養教育を存続させていくべきであるとした場合、その内容は、現代社会のニーズに応えるものとして、どのようなものが盛り込まれるべきであるか、上記文章を参考に、あなたの見解を600字以内で述べなさい。